

自己点検・評価報告書  
— 明石工業高等専門学校の現状と課題 —

令和 4 年 3 月

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
明石工業高等専門学校

## ま え が き

本校は高等専門学校第一期 12 校の一つとして昭和 37 年に設立されました。当初の機械工学科、電気工学科及び土木工学科の 3 学科に加え、昭和 41 年に建築学科、平成 8 年に 2 専攻を擁した専攻科が設置され現在に至っています。今年で 60 周年を迎えますが、その間には電子技術の発展に伴い第 3 次産業革命といわれる産業技術の大きな発展があり、高専を取りまく環境が大きく変化しました。現在、国立高専 51 校は国立高等専門学校機構を中心に一つの独立行政法人として運営され、5 年間あるいは 7 年間の一貫教育制度の基に、実験と実習を重視した専門教育による実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関に位置付けられています。

本校は、高い専門性と教養ならびに豊かな感性を有する人材の育成を目標としています。特に、自分自身で考える力、および国際性の涵養を重要な教育方針として取り組んでいます。進級を遅らせずに 1 年間海外留学ができる学習制度の導入や、令和 3 年の国際寮の完成は、本校の国際化を更に進める大きな推進力になると期待されます。また、全教員が参加するグループワークにより、各学生の課題設定能力や問題解決能力、多様な価値観の受容や協調性などの育成を目指しています。さらに、新 1 年生からコンピュータを必携とし、新しい情報技術を取り入れた教育環境ならびに教育方法の改善など、教育研究の高度化に努めています。

本校は、教育研究活動の現状と成果を把握し、検討と改善を続けることにより、教育研究の更なる改善につなげる努力を継続しています。その活動の一つとして、自己点検・評価報告書を数年毎に取りまとめてきました。この令和 3 年度版「明石工業高等専門学校の現状と課題」は、将来計画・自己点検等委員会（令和 3 年度自己点検・評価作業部会）のもとで、現時点における本科・専攻科の教育と研究、管理・運営、地域貢献、国際化などに関する点検と改善、さらには今後取り組むべき課題などをまとめたものです。関係各位におかれましては、本報告書にお目通しを頂き、忌憚のないご意見を頂ければ幸いに存じます。

令和 4 年 3 月

明石工業高等専門学校長

神 戸 宣 明

# 目 次

まえがき

明石工業高等専門学校 <sup>の</sup> 現況と特徴及び目的	1
-----------------------------------	---

○基準ごとに「優れた点及び改善を要する点」、資料を収録

基準 1 教育の内部質保証システム	5
基準 2 教育組織及び教員・教育支援者等	83
基準 3 学習環境及び学生支援等	113
基準 4 財務基盤及び管理運営	163
基準 5 準学士課程の教育課程・教育方法	209
基準 6 準学士課程の学生の受入れ	397
基準 7 準学士課程の学習・教育の成果	411
基準 8 専攻科課程の教育活動の状況	435
基準 9 研究活動の状況	457
基準 10 地域貢献活動等の状況	475

あとがき

明石工業高等専門学校将来計画・自己点検等委員会委員名簿  
令和 3 年度自己点検・評価作業部会名簿